

放課後等デイサービスにおける自己評価結果(公表)

公表: 令和 6 年 2 月 29 日

事業所名 Smile Linkあびこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	物理的、視覚的構造化を図っている。	
	2	職員の配置数は適切である	3	0		引き続き、プログラムの実施時間、取り組み方等について検討を重ねていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	0		玄関先の段差については、解消できるよう改善を図っていききたい。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	朝礼、終礼、チャットワーク等で日々見直しをおこなっている。	職員間で話し合い、意見を出し合いながら目標設定をおこない、引き続き業務改善に広く職員が参画していけるよう努める。
業務改善	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	対面において、日々保護者のご意向等の確認に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	ホームページでの公表に加え、毎月のおしらせも活用し周知をおこなっている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	0		今後、選出する方向で調整していききたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	年間で研修計画を立て、研修機会の確保に努めている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	定期的なモニタリングに加え、ご要望があれば面談の機会を設けている。	相談支援事業所等との連携強化を図っていききたい。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	月に1度、会議の中で検討・見直しをおこなっている。	
	12	活動プログラムが固定化しない工夫しているか	3	0	いろんな情報、意見を取り入れながら、新しい活動を取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	0	個別、集団活動に加え、長期休暇中には独自のプログラムを提供している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	曜日別のプログラムを提供している。又、通所自立支援の実施を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	朝礼・終礼の機会を持ち、支援内容・役割分担などの確認と振り返りを行っている。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	終礼を毎日おこない、意見の共有を図り、ふりかえりをおこなっている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	業務日誌、ケース記録をまとめている。	より詳しい、個別支援の記録などの充実を図っていきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0	定期的なモニタリングに加え、ご要望があれば面談の機会を設け、支援内容の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	0		
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	児童発達支援管理責任者および児童の状況を把握した職員が参画している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	0	必要に応じて、配布プリントの控えをいただいたりしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	0	電話、もしくはカンファレンスを実施し、情報共有、相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	0	年度の移行期にはご意向を確認し、支援内容等の情報を提供している。	これまでに対象となる児童がいないが、今後、該当する利用者がある場合には、必要に応じて情報を提供するなどおこなっていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	研修などには積極的に参加し、専門機関の指導、助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	0	公共の公園を利用したり、外出の機会を通じて、イベントへの参加をおこなっている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	0	住吉区の事業所連絡会(すいすみ)へ加盟している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	日々の連絡帳や送迎時、ブログ等で療育支援について情報提供を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	0	ペアレント・トレーニングのトレーナー資格を取得し、ペアトレを実施している。	引続き、多くの方への参加を促していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時、又は、会報、掲示、ホームページで丁寧に説明を行う機会を設けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	その都度、相談に応じ、助言を行ったり、ご家庭で取り組める方法などの助言をおこなっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	0	親睦会や親子イベントを企画している。	最近はまだできていないので開催できるよう改善・工夫をしていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の態勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	いただいた苦情や相談に対しては迅速に対応できるよう努めている。	どんな些細な事でも保護者が相談しやすい雰囲気作りと体制を整えていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	毎月のおしらせの配布、ブログ等のSNSを活用し、発信している。	利用者にとって有益な情報配信に、引き続き努めていく。また、事業所内の取り組みの見える化強化を図っていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	3	0	施錠のできる書庫で徹底した管理をおこなっている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	視覚支援など、わかりやすい方法を取り入れるなど、個々に応じた対応に努めている。	よりきめ細やかな個別対応ができるよう、個々のニーズの把握に努め、より良い形へと改善していけるよう努めていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	0	あいさつを大切にし、公園での活動時に他のお子様と一緒にふれあう機会を大切にしている。	地域住民を招待するといった行事の開催はできていないが、今後は何らかの形で開催できるよう検討を進めていく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	玄関先にファイルを置かせていただき、いつでも閲覧可能にしている。	保護者と共同で訓練を実施する、地域の災害訓練等にも参加できるよう体制を整えていけたらと考えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	年に2～3回程度、非常災害に対する訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	事業所内外の研修に参加させていただき、事業所内でも共有を行っている。	
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0		現在対象者はいませんが、必要に応じて保護者と協議の上、支援計画等に記載をおこない、必要であれば必要な手続きを取って支援をおこなっていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	保護者からの聞き取り、もしくは指示書をいただくようにしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	玄関先のファイルでいつでも閲覧可能にしている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。